

Ⅱ 实践事例

実践事例Ⅰ A小学校 第4学年

横断单元名「育ちゆく体とわたしたちの生命」

教科等横断的单元の目標

- ① 生命の誕生，体の発育・発達における個人差，思春期の体の変化，異性への関心の芽生え，体をよりよく発育・発達させるための生活について理解することができる。【知】
- ② 自分の成長を見つめ，自他の生命の大切さについて考えることができる。【思・判・表】
- ③ 自分の体の発育・発達に関心をもち，心身の発育・発達等を肯定的に捉え，自他の生命を大切にしようとするすることができる。【学び】

単元計画

教科等	配時	主な学習活動・内容	主な支援	評価規準（方法）
道徳科	1	自他の生命の大切さ（D-19） ○資料を読み，登場人物の立場で考える。 ・生命の尊さを知り，生命あるものを大切にすること。	場面ごとの登場人物の心情について，ワークシートの吹き出しに記入させる。	＜評価の視点＞ 生命はかけがえのないものであることを知り，大切にしようとしている。（③：観察）
体育科	4★	育ちゆく体とわたし ○身長伸び方，体つきの変化，初経や，精通などについて，資料から読み取る。 ・体の発育・発達，体をよりよく発育・発達させるための生活について。	助産師が，初経，精通などの仕組みや働き，新しい命の誕生について，専門的立場から解説する。 関係機関との連携の工夫	初経や精通，異性への関心が芽生えることについて理解し，体や心の変化は個人差があるものの誰にでも起こる現象であることを捉えている。（①：ワークシート）
特別活動	1	自分の成長を見つめよう（3ーア） ○保護者と胎児心音や産声を聞いたり，自分の成長に関する話を聞いたりする。 ・自分が生まれてきたときはみんなから待ち望まれ，喜ばれ迎えられたこと。	生命の誕生に関して助産師が説明したり，DVDを鑑賞させたりする。 個別・集団の組合せの工夫	自分の成長を見つめ自他の生命の大切さについて考えている。（②：ノート，観察）

この実践のここがポイント！

関係機関との連携の工夫

外部講師と事前に十分に打合せを行い，性に関する指導の全体計画に基づいた指導内容を適切に指導できるよう調整する。

個別指導と集団指導の組合せの工夫

単元の前後にアンケートを実施し，自分の心身の発育，発達等についての不安や悩みの有無について把握し，個別指導につなげる。

【本時について】

「育ちゆく体とわたし」＜体育（保健領域）＞ ★（3／4 時間目）

本時の目標

- ・ 初経や精通，異性への関心が芽生えることについて理解することができる。【知】
- ・ 体や心の変化は誰にでも起こる現象であることを捉えることができる。【知】

☆本時の展開

	学習活動・内容	
つかむ	1 前時に学習した，体の外側に起こる変化を振り返り，体の内側に起こる変化を明らかにする本時学習のめあてをつかむ。 思春期になると体の内側にはどのような変化があるのか調べよう。	「つかむ」工夫 体の内側の変化への問いをもつことができるようにするために、既習図を提示して体の外側にみられる変化を振り返る。
さぐる	2 初経や精通などの体の働きや心の変化について資料を活用したり，GT（ゲストティーチャー：助産師）の話を聞いたりしながら調べる。 ・ 男性には精通，女性には初経が起こる。 ・ 大人の体に近づいているしるしで，新しい命を生み出すための体の準備が始まっている。 ・ 脳から出るホルモンの働きで，変化が起こる。 ・ 体の働きの変化の仕方や，変化が起こる時期は個人差がある（人によって違いがある）。	「さぐる」工夫 体の働きなどについての理解を促すために、GT（助産師）が，初経などの仕組みや働き，新しい命の誕生について，専門的立場から解説をする。
みつける	3 異性への関心が芽生える，異性とのことで冷やかされるなどの心の働きについて，資料を活用したり，日常生活を振り返ったりして調べる。 体の内側や心もだんだん大人へと近づいていく。	「みつける」工夫 低学年の時の自分と比較しながら体験を想起させるために，日常生活の具体的な場面を映像で提示する。
ふかめる	4 本時学習を振り返り，自分の体の内側や心の変化について理解したことを文章にまとめたり，グループで交流したりして本時学習をまとめる。	評価規準（評価方法） 初経や精通，異性への関心が芽生えることについて理解している。（ワークシート） 体や心の変化は誰にでも起こる現象であることを捉えている。（ワークシート）

目標到達しなかった児童への対応例

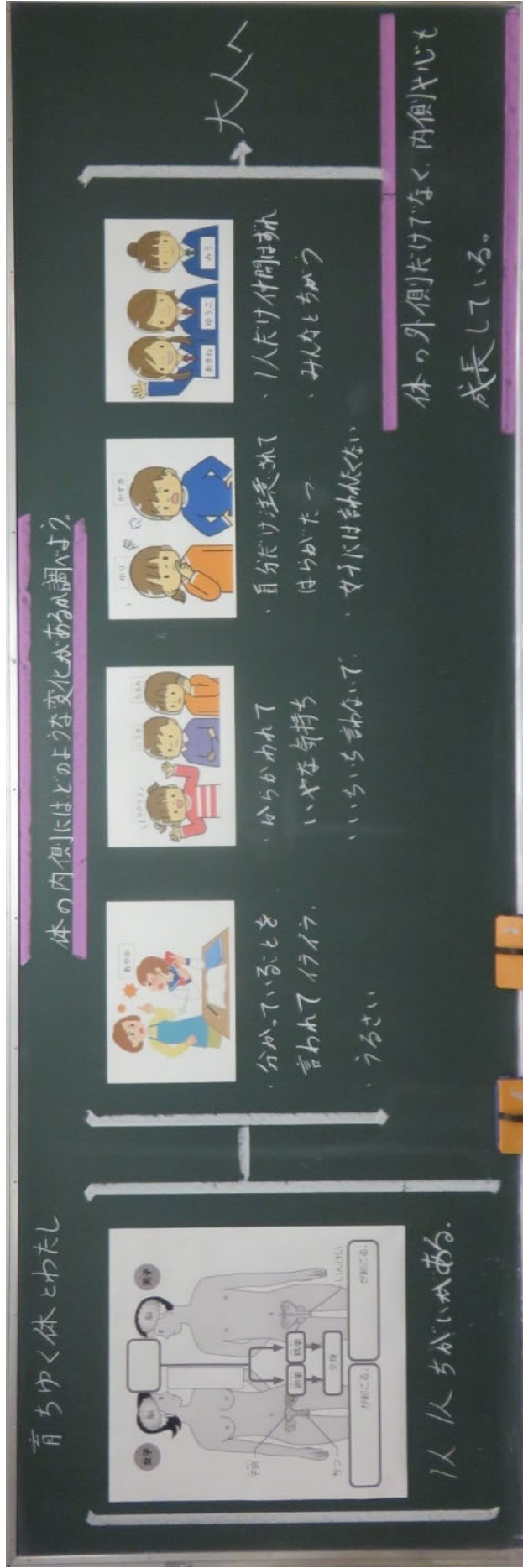
心身の成長には個人差があることについて理解できなかった児童には，後日，養護教諭等と連携して指導を行う。

事前・事後の個別指導の具体例

事前・事後アンケートにより，不安や悩みについて記述があった児童や保護者からの相談については，養護教諭等と協力し，個別指導や助言を行う。

【関係資料】

☆ 本時の板書例



☆ 体の成長を振り返る児童



☆ 座席配置の工夫



☆保護者へのアンケート例(年間計画4年3学期:自分の誕生を見つめよう)

令和 年 月 日

「いのち」の授業 についてのアンケート

本日は、お忙しい中、授業参観にご出席いただきありがとうございました。
今後子ども達の指導の参考にさせていただいたため、アンケートへの御協力を宜しくお願ひします。お手数をかけますが、月 日()までに提出をお願いします。

いずれかに○をつけて下さい。

① 子ども達にとって今日の授業は、役に立つと思いますか。
そう思う ☒ どちらとも言えない ☐ 思わない ☐

② 家庭で性について話をする機会がありますか。
ある ☐ 今後予定している ☒ 必要に応じて予定する ☐ ない ☐

(すでにしている)

授業を参観されたの感想をご記入下さい。

2回の参観をさせて頂いて感じた、我が子の反応や周囲のお友達の様子を伝えることができて良かった。素直な質問が家庭でも答えられる。返答に困ることもあり、もう少し分かりやすい説明をするようにお話をしたいと思っています。

心の成長では、お友達や家庭のことで何でも相談が出来るように思わせたいです。
内容だにと感じています。

お子様の心と体の成長で、心配に思っていることなどがありましたらご記入下さい。

今の所、子供が困っている様子はありませんが、今後、やはりお友達とのトラブルがあると思っています。もう少し場面でも、先生方に協力してほしいなと思います。

学校への要望がありましたらご記入下さい

授業内容が、当初は、時期尚早に思いましたが、思えば、思えば、身体が成長して、個性が、個性が、結果、良かったと思います。親が、授業を参観して、自分自身に、自分自身に、思いました。家庭でも、心の成長が、心の成長が、思っています。

実践事例2 B小学校 第5学年

横断单元名「犯罪被害に関する適切な対応の仕方」

教科等横断的单元の目標

- ① 犯罪被害にあわないための行動の仕方を理解することができる。【知】
- ② 犯罪被害にあわないための危険の予測や回避の方法について考え、話し合うことができる。
【思・判・表】
- ③ 自分で気を付けることを意思決定し、自分の身は自分で守ろうとすることができる。【学び】

単元計画

教科等	配時	主な学習活動・内容	主な支援	評価規準（方法）
体育科	1	犯罪被害の防止 ○公園にはどんな危険があるか予測して、犯罪被害にあわないための安全な行動の仕方を話し合う。 ・犯罪被害にあわないためには、犯罪が起こりやすい場所を避けること。 ・犯罪に巻き込まれそうになったらすぐに助けを求めることが必要であること。	公園のイラストを提示し、「危険の予測」「安全な行動」に分けて、自分の考えを記入させる。 保護者との連携の工夫	犯罪被害にあわないための行動の仕方を理解することができる。（①：ワークシート） 危険の予測や回避の方法を考えている。（②：発言，ワークシート）
特別活動	1★	自分の安全を考える（2ーウ） ○性被害にあわない通信機器の適切な使い方について話し合う。 ・危険（性被害）にあわないための使い方について。 ・困った時の適切な対応の仕方について。	実際に起こっている性被害について GT の話を聞かせる。 一人一人が主体的に考える機会となるよう、グループ構成を工夫する。 個別・集団の組合せの工夫	性被害にあわない通信機器の使い方について自分で意思決定している。（③：ワークシート）

この実践のここがポイント！

保護者との連携の工夫

学習内容や子供の様子を知らせるとともに、家庭での子供のインターネット利用の仕方について注意を促す学級通信を発行する。
（関係資料参考）

個別指導と集団指導の組合せの工夫

実際に悩みがある人や困っている人は、学級担任や養護教諭に相談するように促す。性的な被害を受けた児童等を把握している場合には、事前に本人や保護者にGTの話の内容について知らせ、必要な配慮を行う。

【本時について】

「自分の安全を考える」＜学級活動（2－ウ）＞ ★（1／1時間目）

本時の目標

- ・危険にあわない携帯電話等の使い方について、自分で意思決定をすることができる。【学び】

☆本時の展開

	学習活動・内容
つかむ	1 「携帯電話・スマートフォンの使い方アンケート」の結果を見て、本時学習のめあてをつかむ。 インターネット上で、トラブルや犯罪に巻き込まれないようにするには、どのようにしたらよいか考えよう。
さぐる	2 導入動画を視聴し、問題点を考える。 (1)自分で考える。 ・IDを交換していいのかなあ。 ・写真を送るのは危ないと思う。 (2)グループで考える。 (3)全体で交流する。 3 危険性について知る。 (1)導入動画の結末を知る。 ・小学生の女の子じゃなくて大人だった。 ・インターネット上に写真をはられた。 ・家の場所や本名も知られている。 ・友達の写真まで要求された。 (2)GTの話を聞く。
みつける	4 危険にあわないために、どうすればよいか考える。 ・簡単に信用しない。 ・自分の写真や個人情報を送らない。 ・困ったときは大人に相談する。
ふかめる	5 危険にあわないための携帯電話・スマートフォンの使い方や危険から身を守るための行動について意思決定をし、本時の学習を振り返る。

「つかむ」工夫

携帯電話・スマートフォンの使い方の問題点を確認するために、アンケート結果を提示する。

「さぐる」工夫

一人一人の発言の機会を保障し、全体交流を活発にするために、まず小グループで考えを出し合わせる。

「さぐる」工夫

さらに大きな性被害等の危険性を知ることができるようにするために、実際に起こっている事例についてGTが解説する。

評価規準（評価方法）

危険にあわないための使い方や、もしもの時の適切な対応の仕方について、自分で意思決定したことをワークシートに記入することができる。（ワークシートへの記入内容）

目標到達しなかった児童への対応

意思決定できなかった児童は、個別に話を聞き、具体例の中から自分が気を付けることを選ばせる。

事前・事後の個別指導の具体例

学習したことを家庭で継続して実践することが難しい場合など、家庭の背景等を考慮し、担任と養護教諭等が連携して個別の指導を行う。

【関係資料】

☆ 本時のワークシート例

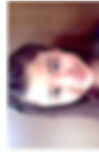
「情報に関する適切な対応の仕方」ワークシート

名前 ()
めあて

インターネットを利用するとき、トラブルや犯罪に巻き込まれないようにするにはどのようにすればよいと考えよう。

1 動画を見て、“問題”、“危険”だと思った点があれば書きましょう。

【自分の考え】 (ある ・ ない)



【カタツムリさん】
とらのもん南小6年生

【友達の考え】 (ある ・ ない)



【けいこ (ケイ) さん】
とらのもん北小5年生

2 危険なことに巻き込まれないようにするには、どのようにすればよいでしょう。

【どんな危険があるか】

【どうすればよいか】

3 今日の学習を受けて、これからあなたはどのようにしていきますか。インターネットを利用するとき、どんな危険なことに巻き込まれないように、どうするか、左の [] には〇〇さんの話にあったことから、右の [] には“2”をもとに書きましょう。

ように、
ために、

しない！
する！

☆ 保護者への通信例



〇〇小学校
5年〇組 学級通信
No. 〇〇
〇年〇月〇日

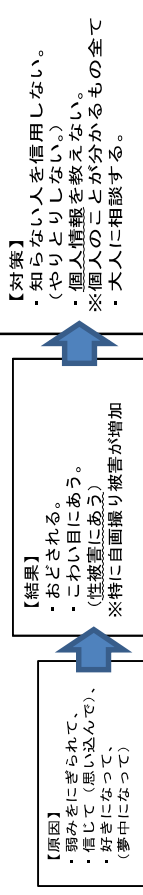
インターネットの使い方 (危険性) について学習しました！

先週の金曜日に、インターネットの使い方やその危険性について学習しました。これまで、様々な機会 で情報モラル学習に取り組んできているため、動画を見ると、
「小学校6年生の女子と言っているけど、本当が分からない。」
「知らない人と、ID交換をするのは良くない。」

「自分の写真 (個人情報) を送るのは絶対にダメ。」

と記述していて、しっかりと知識をもっていると感じました。
しかし、昨日行った“スマホ体験学習”では、使っていない言葉を書き込んだり、実名で書き込みをしたりする子が多くいました。またそんな状況を“危ない”、“問題”と思う子が現れないどころか、ワイワイと楽しんでいる様子でした。その他にも、占いをするために誕生日を入力するなど、個人情報 ネット上に次々と…。頭では分かっているのに、実際に使うときには判断ができなくなってしまいました。

そこで、(株)〇〇より、ICT支援員でいらっしゃる〇〇さんにゲストティーチャーとして来ていただき、インターネット上で実際に起こったトラブルや犯罪に巻き込まれてしまった事例、その原因を話していただきました。



インターネットを使うときは、冷静に判断できなくなったり、「自分は大丈夫」と思ったり、相手のことを信用しやすい性質があったりするため、被害にあうそうです。特に、ご家庭においてスマホ等でインターネットを利用している場合、「うちの子は大丈夫…」「まだ先の話…」と思わずに、使い方の確認をお願いします。

学校においても、引き続き、今回決めたことを守ることができているか確認するとともに、正しくインターネットを使うことができるよう指導していきます。



☆ 活動計画例

	活動内容	活動時間
事前	○ 携帯電話・スマートフォンの保有率、使用状況に関するアンケートをする。 ○ アンケート結果から、何が問題であるか話し合い、学級全体で解決していこうという共通の問題とする。 【共通の問題】携帯電話・スマートフォンをもっている人が多いが、間違っただけを使っている人がいるので、適切な使い方を知り、自分の使い方を見直すことが必要だ。	10月5日 朝の活動 10月11日 朝の活動
	○ 携帯電話・スマートフォンなどの通信機器を使っていて、自分が疑問に思ったことや困ったことを想起し書いておく。 ○ 規範意識教室で、GT（〇〇情報 ICT 支援員）より携帯電話・スマートフォンについての講習を受けて、その危険性や使う際に注意することなどを理解する。 ○ タブレットで会話のやりとりをしたり、チャットなどの体験学習を行ったりして、携帯・スマホの便利さや楽しさに触れる。（町 ICT 支援員と IT）	10月12日 朝の活動 10月13日 学級活動 1月31日 総合的な学習の時間
	○ 携帯電話・スマートフォンなどの通信機器の使い方に関する問題があったことをふり返り、危険に遭遇しないための通信機器の使い方や、もしもの時、どのように対応したら良いか意思決定する。 ・ 携帯電話・スマートフォンの使い方の問題点について確認する。 ・ DVD を見て、具体的にどのようなことが起こっているのか、また自分だったらどのように対応するのか考えて、話し合う。 ・ GT より小学生が情報の氾濫によって性犯罪に巻き込まれそうになった事例を聞き、それらがどのような危険性を引き起こすのか考える。 ・ 危険に遭遇しないための携帯電話、スマートフォンの使い方の意思決定し、本時の学習を振り返る。	2月1日 学級活動
本時		
事後	○ 本時で学んだことや自己決定したことを、家庭で保護者と話し合い、これからの使い方について家庭での約束事を決める。 ○ 家庭で決めた約束事について学級で交流し、互いに守っていこうとする意欲を高める。	2月1日 家庭学習 2月2日 朝の活動

☆ 年間指導目標例

性に関する指導目標	
① 生命の誕生や心身の発育・発達における男女差や個人差に関する基礎的事項を理解し、自己の性を受容し、自分を大切にしようとする心情や態度を育てる。	
② 男女には体の特徴や発達段階などに違いがあるが、互いに相手の人格を尊重しあうことが大切であることを知り、相手を思いやる心情や態度を育てる。	
③ 家庭における役割は、男女の別なく分担し、互いに助け合うことが大切であることを知り、家族や社会の一員として適切な判断や意思決定ができる能力や態度を育てる。	
発達段階における重点目標	
低学年	① 男女の違いに気づき、自分は父親・母親から生まれ、愛情と保護によって育てられたことを知り、自分を大切にしようとする気持ち育てる。 ② 男女の体には違いがあるが、人間としてともに大切な存在であることを知り、男女の別なく仲良くしようとする態度を育てる。 ③ 家族は互いに助け合って生活していることに気づき、家族の一員として協力していこうとする態度を育てるとともに、性被害が起きている現状を知り、被害を防ぐ方法を身に付ける。
中学年	① 体のつくりや働きを理解するとともに、男女の体の違いや発育・発達の特徴を知り、互いに尊重しあう態度を育てる。 ② 男女が互いの違いや良さに気づき、互いに相手を尊重し、男女仲良く協力する態度を育てる。 ③ 家庭の機能について理解し、家庭における自分の役割を自覚して行動する態度を育てる。また、性情報を正しく受け止め、適切に行動しようとする態度を育てる。
高学年	① 心身の発育・発達には男女や個人によって違いがあることを知るとともに、生命の連続性や人の誕生について理解し、自他の生命を尊重する態度を育てる。 ② 異性に対する心は男女に違いがあることを知り、互いを尊重し、より良い男女の友達関係を築こうとする態度を育てる。 ③ 家庭や社会における男女の役割について考え、固定的な性別にとらわれず、男女が協力することの大切さを知るとともに、性情報や性被害、エイズに関することなどについて認識を深め、健康で安全な生活を営む態度を育てる。

実践事例3 C小学校 第5学年

横断单元名「わたしたちの生命」

教科等横断的单元の目標

- ① 人は、母体内で成長して生まれることを理解することができる。【知】
- ② 生命が多く生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを捉えることができる。【思・判・表】
- ③ 限りある生命を精一杯生きるために、これからの時間を自分や友達の命を大切にしながら生きていこうとする心情をもつことができる。【学び】

単元計画

教科等	配時	主な学習活動・内容	主な支援	評価規準（方法）
理科	7	人の誕生 ○人の発生について、養護教諭の説明を聞いたり、資料を活用したりして調べる。 ・人は、受精した卵子が母体内で少しずつ成長し、生まれてくること。	発達段階に合わせた 単元構成の工夫 人の発生について理解できるように、養護教諭が、絵図や模型を活用して説明する。	人は、母体内で成長して生まれることを理解している。（①：ノート、ワークシート等）
道徳科	1 ★	限りある命（D-19） ○「命とは何か」「精一杯生きるとは、どういう生き方をするのか」について話し合う。 ・生命はかけがえのないものであることを自覚し、限りある生命を精一杯生きていこうとすること。	考えを記入したノートを各自がタブレットで撮影して、クラス全体で共有できるようにし、グループで考えを交流できるようにする。	<評価の視点> 「精一杯生きる」意味を自分との関わりで捉え、今後の時間を大切に生きていこうと考えている。（②：観察、ノート）
特別活動	1	生命の大切さ ○自他の生命の大切さについて話し合う。 ・生命の始まりと自分の成長を知り、これまで育ててくれた周囲の人に感謝する気持ちを持ち、命を大切にしながら生きたいと思うこと。	生命の誕生に関して助産師が説明する。 関係機関との連携の工夫	自分の生命は一つしかないものであり、友達の生命と同様、大切にしようとしている。（③：ノート、観察）

この実践のここがポイント！

関係機関との連携の工夫

助産師等と連携を図り、児童の実態や目標を共有し、経験や専門性を生かした効果的な指導を行う。単元後も相談体制を継続する。

発達段階に合わせた単元構成の工夫

人や動物の誕生について関心を持ち、理解することができるこの時期に、理科「人の誕生」に関連付けて、生命に関する内容の道徳科、特別活動の学習を仕組む。

【本時について】

「限りある命」＜道徳（D-19）＞ ★（1／1時間目）

本時の目標

- ・「精一杯生きる」意味を自分との関わりで捉え、今後の時間を大切に生きていこうと考える。

☆本時の展開

	学習活動・内容
つかむ	1 アンケートの結果を見て、命に対する考え方を振り返り、めあてをつかむ。 命を大切にする生き方について考えよう。
さぐる	2 教材「命」（日本文教出版）を読んで話し合う。 (1) 由貴奈さんについて知り、病気と闘う由貴奈さんの気持ちを考える。 ・どうして私がこんな病気に。 ・こわい。 ・苦しい。 (2) 由貴奈さんが考えた「命」について話し合う。 ・とても大切だ。 ・いつかはなくなる。 ・簡単には取りかえられない。 ・やっと神様から与えられるもの。 ・命がないと人間は生きられない。 ・休むことなく働いている。 ・命が疲れたと言うまで、精一杯生きる。
みつける	3 「精一杯生きる」という意味について考え、話し合う。 「精一杯生きる」とは、どういう生き方をすることでしょう。 由貴奈さんにとっては ・周りを明るくする。 ・誰に対してもやさしくする。 ・周りの人を気遣う。 自分にとっては… ・なんにでも最後まであきらめずにがんばる。 ・自分も友達も大切に、一生懸命生きる。 ・どんなときも全力でチャレンジする。 ・1日1日を無駄にせず、今の時間を大切にする。
ふかめる	4 本時で学んだことを、今後の自分の生き方にどうつなげるか考える。

「つかむ」工夫

課題意識をもつことができるようにするために、アンケートの結果を提示し、自分の命に対する考え方について振り返らせる。

「さぐる」工夫

病気と闘う由貴奈さんの思いを捉えることができるようにするために、由貴奈さんの生い立ちや、詩を書いた経緯などを把握させる。

「みつける」工夫

クラス全体で共有して、グループで考えを交流できるようにするために、考えを記入したノートを各自がタブレットで撮影し、教師のPCに送信させる。

評価の視点（評価方法）

「精一杯生きる」意味を自分との関わりで捉え、今後の時間を大切に生きていこうと考えている。（ワークシート、観察）

目標に向けて配慮の必要な児童への対応

命を大切にすることについて否定的な感想をもった児童がいた場合は、その背景を探りつつ児童の思いを汲み取るようにする。

事前・事後の個別指導の具体例

アンケート結果等から、身近な人が亡くなるなど、配慮が必要な児童を把握し、単元前後の様子を観察して心情に寄り添った指導を行う。

【関係資料】

☆ 学年通信

5年学年通信

タイトル




○ 月から ○ 月 ○ 日まで『命』について

① いのちの大切さを知り、自分も友達もたいせつにすることができる。

② 不安や悩みを軽減する方法を知り、相談する事ができる。

③ 家族や社会の一員として男女の区別なくお互いに助け合うことができる。

を目標に、理科、道徳、学活を通して学習を進めていきました。

理科の時間「人のたんじょう」では、班ごとに本やインターネット等で胎児の成長の様子や子宮の役割について、みんなで協力し合い一生懸命調べまとめました。発表の仕方も模造紙、タブレットなど色々工夫が見られました。

養護教諭の先生からは、胎児の育つ様子を教えていただき、3ヶ月の胎児、6ヶ月の胎児の実際の重さ等を体験しました。とても大事に胎児人形を包み込み、胎児の大きさと重さを実感しました。胎児人形を持ったときの子もたちの顔が、とてもキラキラしてほほえましく感じました。

また、妊婦体験（3 kg の赤ちゃん人形をおなかに抱えました。）もしました。「下が見えにくい。」「物が取りにくい。」「重たい。疲れる。」「バランスが取りにくい。」等素直な感想が聞かれました。

その後、道徳では限りあるいのちを精一杯生きていこうとした宮越由貴奈さんの詩をもとに、命を大切に生き方について考えました。朝の活動では『いのちのまつり』の話を聞きました。作者の『この世で生を受けたと言う事は、過去や今だけにとどまらず、未来にも責任があるのではないかな…責任を負うために、今を精一杯生きていく』という思いが伝わる絵本でした。

命の学習最後は、助産師さんを招いて、『いつ何が起きるかわからない。当たり前毎日の生活。どんなに願っても時は戻せない。だから今このときを精一杯生きてほしい。』というメッセージをいただき、命の大切さについて一人ひとりが考えました。

子どもたちの感想をいくつか紹介します。

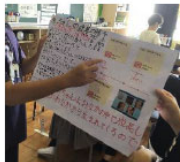
○ 誰にでもはじまりと終わりがあり、80年生きる人もいるし、赤ちゃんの時に亡くなる人もいて、いつ自分が誰かにあえなくなるかわからないから、一日一日を自分も相手ももらった命を大切にしないといけないんだなと思いました。

○ いやなことがあったら、すぐに相談したら良いとわかった。

○ 友達の命や時間を大切にしないといけないことを学びました。

○ 今まで命があるのが当たり前、明日が来るのが当たり前だと思っていました。でも理科の学習や助産師さんの話を聞いて自分が今まで生きていることが奇跡なんだと思いました。もっと自分が生きていることに感謝しなければいけないと思いました。だから、自分の命も友達の命も大切にしたいと思います。

子どもたちのアンケートから「学ぶことは、変わることだ」と実感しました。人権集会では、今回学んだ『命の大切さ』について発表する予定です。







☆ 事前・事後アンケート

事前事後アンケート結果(5年○組)

4. 強く思う 3. 思う 2. あまり思わない 1. 全く思わない

	氏 名		質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6
	○○ ○○	事前	4	3	2	4	3	4
		事後	4	△4	△4	4	△4	3
	○○ ○○	事前	4	4	4	4	4	4
		事後	4	4	4	4	4	▼3
	○○ ○○	事前	4	3	1	3	2	2
		事後	4	△4	△3	3	△3	2
	○○ ○○	事前	4	4	4	4	4	4
		事後	4	4	4	4	4	4

質問1 あなたは、命は大切だと思いますか。 質問4 あなたは、友達の命は大切だと思いますか。
 質問2 あなたは、自分の命を大切にしていますか。 質問5 あなたは、友達の命を大切にしていますか。
 質問3 あなたは、時間を大切にしていますか。 質問6 あなたはまわりの人に大切にされていると思いますか。

☆ 第5学年 学級活動（命の大切さ）

1. 主題名 自分や友達の生命を大切にすること

2. 目標 ①生きているこの時(時間)の大切さを知ることができる。

②「自分の生命を大切にすること」「他者の生命を大切にすること」とはどのようなことか考えることができる。

③自分が大切にされていないと感じた時、友達や大人(専門職含む)に相談しようとするすることができる。

3. 展開

段階	主な学習活動と内容
導入 5分	1. 前時までの学習を想起し、本時の内容を確認する。GT の紹介(助産師の仕事・役割)を聞く。 2. GT から本時の見通しを聞く。 ・助産師が感じている「今生きていること」の奇跡、生命の大切さを聞き、自分を大切に生きるとはどのようなことかを一緒に考える。
展開 前段 15分	1. 臨床で感じた生命の神秘性・有限性に関する話を聞く。 ・死産と出産 ・一晩で出産—お看取り—出産 ・出産直前に急死した妊婦さん ・生命はいつ終わりが来るか誰にもわからない ・終末期の患者さん「あの時こうしておきたかった」という言葉をたくさん聞いた。時間は巻き戻せない。 ・このような出会い、経験をしたからこそ今元気にここに居ること、朝を迎えられること、大好きな人と笑いあえること・・・それが私にとっては本当に奇跡的で、幸せなことと思える。必ず明日が来ると約束されている人はいない。いつ何が起きるか分からない。「あの時こうしておけばよかった」と思わなくていいように「今」を精一杯生きてほしい。 2. 「精一杯生きる」ことについて話し合う。 ・前回の授業で考えた「精一杯生きる」とはどのようなことか、自分の意見を友達に伝える。または前回の授業から「精一杯生きるために日常生活で心がけていること」があれば出し合う。(全員での意見交流)
展開 後段 10分	1. 「精一杯生きる」ことに関する話を聞く。 ・なぜ?→「自分なんて」「生きている意味がない」という人がいる。 ・奇跡的な確率でこの世に誕生したこと、たくさんの大人の愛情があってここまで大きくなったこと。それは友達も同じ。 ・生命は大切、それは大前提として「あなた」が大切。 2. 「自分(の生命)を大切にすること」とは具体的にどのようなことか、班で話し合う。 ○自分を大切にしていると感じるのはどんな時? ※その気持ちを大切に持ち続けてほしいことを伝える。 3. 反対に「自分が大切にされていない」と感じるのはどんな時か、班で話し合う。 ○自分が大切にされていないと感じるのはどんな時? ※感じ方が人それぞれであることを強調 4. 自分の生命も相手の生命も大切に生きる生き方とはどんな生き方か考える。 ・「NO(いやだ)、GO(逃げる)、TELL(相談する)」 ・相手の気持ち「いやだ」を尊重する。 ここに一人ひとりが それぞれの場所で 大切に育てられてきた存在  自分の生命も友達の生命も大切に生きる生き方 NO (いやだ) GO (にげる・居場所を探しに行く) TELL (相談する) あなたの「いやだ」には力がある 尊重されるべき いつでも誰かに助けを求めていいし、相談していい
終末 5分	1. 私たちが生きているこの時間は、当たり前ではないことを知る。 ・毎日が奇跡の連続であること。 ・与えられた時間があとどれくらいか分からない。 ・せっかく与えられた「今この時」を精一杯生きてほしい。 2. 周りの大人を頼っていいことを知る。 ・みんなを応援したいと思っている大人はたくさんいる。 ・相談先の紹介、いつでも相談に来てよいことを伝える。 3. この学習で学んだことを、今後の生活にどう生かしていくのか考え、発表する。 今日のまとめ ・生命はいつ終わりが来るか誰にも分からない。 ・毎日が奇跡で当たり前の日常はない。 ・だからこそ毎日を精一杯生きてほしい。 ・ここに居るみんなそれぞれの場所で大切に育てられてきた存在。 ・自分とお友達の生命を大切に生きる生き方 NO (いやだ)、GO (にげる)、TELL (相談する)

実践事例4 D中学校 第1学年

横断单元名「より良い人間関係を築く」

教科等横断的単元の目標

- ① 生殖に関わる機能の成熟には個人差があり、性に関する適切な態度や行動の選択の必要性を理解することができる。【知】
- ② 異性との関係について、自己の課題を見出し、より良い人間関係を築くために思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。【思・判・表】
- ③ 積極的に学習に取り組み、異性とより良い関係を築いていこうとしている。【学び】

単元計画

教科等	配時	主な学習活動・内容	主な支援	評価規準（方法）
特別活動	1	違いを考える（2ーウ） ○男女の違いについてこれまでの考えを振り返る。 ・体力や体格の差 ・考え方の違い	今までの生活の具体的な場面を振り返り、男女で違う理由を考えるよう促す。 ICTの活用	異性との関係を振り返り、課題を見出している。 （②：教育支援アプリへの記述）
保健体育科	2★	生殖機能の成熟 ○生殖に関わる機能の成熟について考える。 ・生殖機能の成熟 ・異性の尊重と性情報への対処	自主的に学習に取り組むことができるように、調べ学習を行い、説明会を設定する。	生殖機能の成熟や異性の尊重と性情報への対処について理解している。 （①：教育支援アプリへの記述）
道徳科	1	互いを認め合う（Bー8） ○友情、信頼について考える。 ・男女の考え方の違い	ねらう道徳的価値につながるように、二人の関係で何を大切にしていくなが必要があるかを問う。	良さを認め合うことの大切さについて自分との関わりで考えを深めている。（①②：教育支援アプリへの記述）
特別活動	5	自然体験学習（学校行事） ○自然体験学習を通して、仲間の良さを伝え合う。 ・互いの良さを見つけること ・良さを伝え合うこと	これまでの学びを体験するために、学校行事の中で良さを見付ける活動や伝え合う活動を設定する。	積極的に学習に取り組み、異性とより良い関係を築いていこうとしている。（③：様相観察）

この実践のここがポイント！

単元構成の工夫

学習内容を深化するために道徳科との関連を図ったり、学習内容を実際の生活の場で実践できるように学校行事との関連を図ったりしている。

ICTの活用

性に関する学習の成果を蓄積し、いつでも自己の学びを振り返ることができるように、教育支援アプリを活用する。

【本時について】

「生殖機能の成熟」＜保健体育＞（1／2時間目）

本時の目標

- ・内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟することを理解することができる。【知】
- ・成熟の時期には個人差があることを理解することができる。【知】

☆本時の展開

	学習活動・内容	
つかむ	1 小学校の学習を振り返り、思春期の男女の体の変化について考える。 ・乳房が膨らんでくる。 ・肩幅が広がる。 2 本時のめあてを確認する。 思春期の体の変化について班で調べて、説明しよう。	「つかむ」工夫 課題をもって学習を進めることができるように、小学校で学んだ内容に対して、「なぜ、どうして」といった問いかけを繰り返し行う。
さぐる	3 男女の生殖機能の発達について調べ学習をする。 (1) 班で役割を分担し、調べ学習をする。 [男子]・性腺刺激ホルモンで精巣が発達する。 ・精通が起こる時期には個人差がある。 [女子]・子宮内膜が厚くなり、月経が起きる。 ・初経が起こる時期には個人差がある。 (2) 説明シートにまとめる。	「さぐる」工夫 効率よく調べ学習ができるように、教室の中心に資料集等を置いた共同テーブルを設定したり、タブレットを準備したりする。
みつける	4 教育支援アプリを活用し、班内で説明会を行う。 (1) 調べた内容を説明する。 (2) 説明に対し、更に知りたいことを質問する。 (3) 質問に対してさらに深く調べる。 ・説明シートに追記	「みつける」工夫 知識を深めることができるように、説明会の中で疑問に思ったことや更に知りたい内容などを質問し合う場を設定する。
ふかめる	5 学習をまとめ、振り返りを行う。 ・内分泌の働きによって生殖機能が成熟する ・その時期には個人差がある。	評価規準（評価方法） 内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟し、その時期には個人差があることについて理解したことを書き出している。（教育支援アプリでの振り返り記述）

目標到達しなかった生徒への対応例

説明会で作成した説明シートをもとに、一つ一つ丁寧に確認していくとともに、自他の成長について考える場を設定する。

事前・事後の個別指導の具体例

授業に無関心な生徒に対しては、性意識にも個人差があることを確認し、自分の存在を肯定的に捉えるよう継続して支援する。

【関係資料】

☆ 生徒の記述（教育支援アプリ）

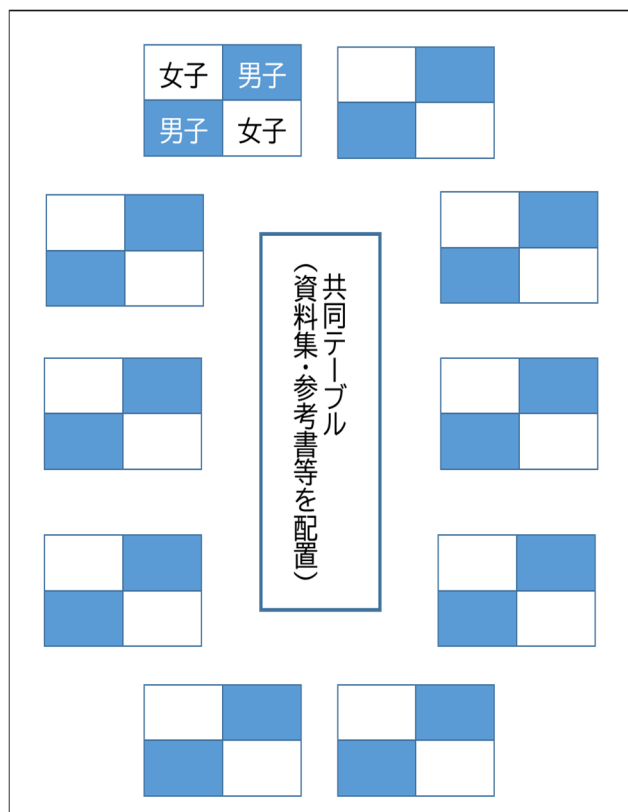
単元名：よりよい人間関係を築く

違いを考える	生殖機能の成熟①	生殖機能の成熟②	互いを認め合う
・力が強い ・よくしゃべる ・けんかしてもすぐ仲直りする ・すぐ怒る	【男子】 ・ひげがはえる ・筋肉がつく 【女子】 ・胸が大きくなる ・腰幅が広がる	【性情報の入手先】 ・友達 ・インターネット ・SNS ・先生	・申し訳ないな ・どうしてハンカチを渡したんだろう ・このあいだは怒鳴ってごめん ・自分が恥ずかしかったから、つい言ってしまった。
今、成長していく中で男女の違いが出てきているので、お互いに尊重していくことが大切だと思う。	脳の下垂体から性腺刺激ホルモンが分泌されることによって、男女それぞれのホルモンにより、男女の体が成熟していくことがわかった。	身の回りにある性情報が正しいかどうかを自分でしっかりと判断し、予測した上で行動することが大切だと思う。	互いに思っていることをしっかりと伝え合うことが大切だと思う。私も学級みんなの良さを見つけて、伝えていきたい。

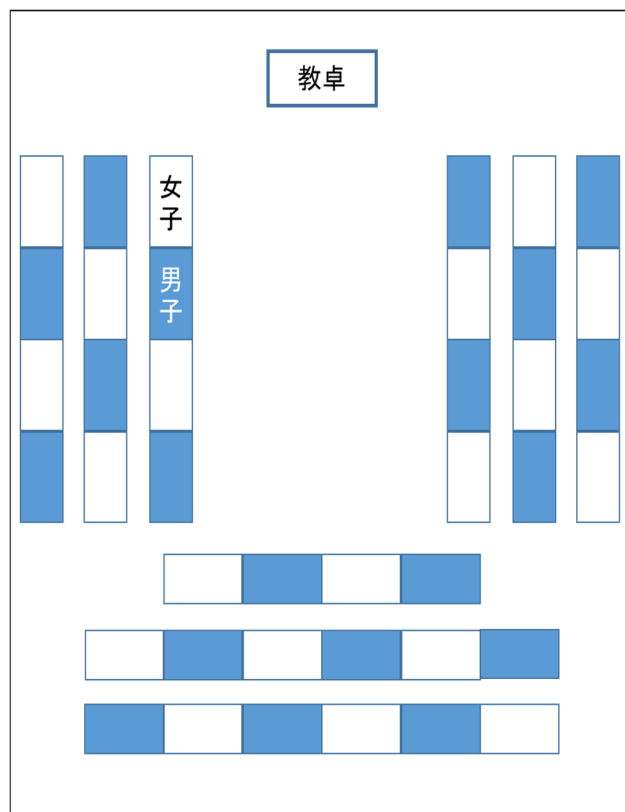
自然体験学習

これまで、男女の違いについて学習して、自然体験学習に臨みました。山登りはとても大変だったけど、男子が私の荷物をもってくれたり、女子は歌を歌って盛り上げたりしながら、協力してゴールにたどり着くことができました。男女の良さを認め合いながら今後の学校生活を送っていききたいと思います。

☆ 保健体育科での座席配置図



☆ 道徳科での座席配置図



性に関する指導 年間指導計画表

	1年	2年	3年
保健体育（保健分野）	題 材 【心身の機能の発達と心の健康】 ○体の発育・発達 ○性機能の成熟	【傷害の防止】 ○犯罪被害の防止	【健康な生活と疾病の予防】 ○性感染症の予防 ○共に生きる社会
	ね ら い 1 中学生期が体の発育・発達にとってどんな時期であるかを理解し、望ましい発育・発達を図るためのよりよい生活について考えることができる。 2 思春期の体の変化や月経・射精・受精、妊娠などの仕組みについて理解し、不安や悩みを解消することができる。	1 犯罪被害は、さまざまな要因によって発生することや、適切な対策によって防ぐことができることを理解することができる。 ・中学生に起こる犯罪被害 ・犯罪被害の人的要因とその対策 ・犯罪被害の環境要因とその対策	1 性感染症の現状、原因、症状を知るとともに、その予防対策が必要なることを知ることができる。 2 エイズをはじめ病気や障害がある人に対して偏見を持たず、共に支え合って生きていこうとする態度を身に付けることができる。 ・性感染症の種類と特徴 ・感染経路と予防 ・みんなが助け合い共に生きる社会の実現
	指 導 内 容 ・発達段階と二次性徴 ・男女の体の変化と違い ・二次性徴とホルモンの関係 ・月経・射精と受精、妊娠・出産		
特別活動	題 材 【互いの良さを伝え合おう】 1 男女の違いや個人差について考え、より良い人間関係を築くための課題を見出すことができる。 2 友達の良さを見つけるとともに、互いに認め合い、伝え合うことができる。	【男女交際】 1 男女交際の意義を考え、相互が尊重し合うことの大切さを理解することができる。 2 思春期は異性への関心が高まることを理解することができる。	【性の問題行動と社会生活】 1 性被害防止に対処する態度を身につけることができる。 2 異性に対する正しい態度を身につけ、規則正しい行動をとることができる。 3 性犯罪や性の問題行動の実態や原因を理解することができる。
	指 導 内 容 ・良さを見つけること ・伝え合うことの大切さ	・異性への関心 ・性的欲求と性行動 ・男女交際	・性の問題行動の実態や原因 ・規律ある行動と性の問題行動の防止 ・男女交際のマナーとエチケット
	題 材 互いを認め合う 1 心から信頼できる友人をもつためには、互いの良さを認め合うことが大切であることを理解することができる。	望ましい関係 1 友達として、互いに相手のよき理解者となることができる。	思いやりの心 1 温かい人間愛の精神を深め、思いやりの心をもって他者に接しようとする心情を高めることができる。
道徳科	ね ら い		
	指 導 内 容 内容項目（B-8）友情、信頼 ・男女の考え方の違い ・平等で対等な関係	内容項目（B-8）友情、信頼 ・異性についての理解 ・より豊かな人間関係	内容項目（B-6）思いやり、感謝 ・人間愛の精神 ・他者に対する思いやりの心
	題 材 理科【生命を維持する働き】 1 血液の働きと生命維持の仕組みについて理解できる。	家庭科【わたしたちの家族、地域】 1 よりよい家族環境について考えることができる。	社会科【公民】（福祉の充実と生活環境の整備） 1 誰もが健康で豊かな生活をおくることができることを考えて考えることができる。
その他	ね ら い		
	指 導 内 容 ・血液の成分と働き ・抗原、抗体反応	・家族のつながり ・家族と地域のつながり	・ボランティア活動と福祉の関係 ・障害者問題 ・高齢者問題

実践事例5 E 中学校 第3学年

横断单元名「未来の自分を考える」

教科等横断的单元の目標

- ① エイズ及び性感染症の特性とその予防法や幼児の成長に大切なことについて理解することができる。【知】
- ② 「生命の尊重や望ましい人間関係の構築」と「性に関する正しい知識」を相互に関連付け、自ら考え適切な意思決定と行動選択ができる。【思・判・表】
- ③ 自己の行動に責任をもち、自他を大切にする生き方をしようとしている。【学び】

单元計画

教科等	配時	主な学習活動・内容	主な支援	評価規準（方法）
保健体育科	1	性感染症の予防 ○性感染症の特徴をまとめ、比較する。 ・感染経路と予防対策 ・感染症の特徴	他の感染症と比較したエイズ及び性感染症の特徴を整理し、説明する場を設定する。	エイズ及び性感染症の病理や特性とその予防法について理解している。 （①：振り返りシート）
特別活動	1	未来を考える（2ーウ） ○産婦人科医による講話を聞く。 ・エイズや性感染症の特徴 ○大切なものについてのグループワーク ・自他を大切にする生き方 ・エイズや性感染症から身を守るための行動 ・自分の未来に向けて	授業のねらいや学習内容、伝えて欲しいことなど、産婦人科医と事前の打ち合わせを綿密に行う。 外部講師との連携の工夫	エイズや性感染症について正しい知識をもとに、望ましい行動を考え、自他を大切にする生き方をしようとしている。 （②③：学活ノート）
家庭科	4★	幼児の生活と家族 ○保育園でのふれあい体験を行う。 ・幼児の特性 ・責任ある行動 ・家族の思い ○子育て中の教師の講話を聞く。 ○育児シミュレーションを行う。 ・育児に大切なこと	体験や講話、シミュレーションの中で、適宜、将来の自分をイメージできるよう振り返りを丁寧に行う。 関係機関との連携の工夫	信頼関係を築くことが幼児の成長に大切なことを理解し、自己の行動に責任をもとうとしている。 （①③：振り返りシート、様相観察）

この実践のここがポイント！

関係機関との連携の工夫

育児の喜びや大変さを実感できるように、自己の未来を描いた後に、地域と連携した保育園へのふれあい体験学習を実施する。

外部講師との連携の工夫

授業のねらいや学習内容、伝えて欲しいこと、配慮が必要な生徒のことなど、事前に産婦人科医と綿密に打ち合わせする場を設定する。

【本時について】

「幼児の生活と家族」＜家庭科＞ ★（4／4時間目）

本時の目標

- ・信頼関係を築くことが幼児の成長に大切であることを理解することができる。【知】

☆本時の展開

	学習活動・内容	
つかむ	1 前時までの学習を振り返り、幼児の特性やかかわることの大変さを想起させ、本時のめあてをつかむ。 幼児の成長のために必要なことは何かを考えよう。	「つかむ」工夫 幼児とふれあった時の気づきや抱いた感情を想起させるために、ふれあい体験での感想を紹介する。
さぐる	2 子供を育てる上での疑問や聞いてみたいことをGTに質問する。 ・泣き止まないときにはどうしたら泣き止みますか。 ・子供を育てる上で、一番大変なことは何ですか。 ・一番の喜びは何ですか。	「さぐる」工夫 質問しやすい環境を作るため、生徒にとって身近な子育て中の教員にGTを依頼する。
みつける	3 自分が親である場合の対応について考える「育児シミュレーション」を行う。 (1)個人で考える。 〈場面①〉1才～3才 反抗期に突入。何を言っても「ヤダー」の一点張り 〈場面②〉4才～6才 保育園に行きたがらない。出かける時間になると大泣き (2)グループで交流する。 4 GTから話を聞く。	「みつける」工夫 多様な意見に触れることができるように、個人の考えを付箋に書き出し、その後グループに紹介しながら全体シートに貼っていくKJ法を進める。疑問に感じたことを互いに質問をするよう促す。
ふかめる	5 本時の学習をまとめ、次時の学習に見通しをもつ。 ・自分もたくさんの愛情をもらって成長した。 ・自分が親になったときは、愛情を持って子供に接したい。	評価規準（評価方法） 信頼関係を築くことが幼児の成長に大切であることを理解している。（振り返りシートの記入内容）

目標到達しなかった生徒への対応

これまでの自分の成長過程を振り返らせ、幼児の成長に必要なことを考えることができるよう個別指導する。

事前・事後の個別指導の具体例

事前アンケートの結果から、配慮が必要な生徒に対しては学習内容や方法などを保護者に理解を得た上で、連携して学習を進める。

【関係資料】

☆ 性に関する指導全体計画



☆ 家庭科ワークシート

家庭科ワークシート 育児シミュレーション ○自分が親になったつもりで自分の子どもにこんなことが起こったらどうするかを考えよう。	年 組 番 名前
--	--

エピソード ①

1才～3才

反抗期に突入！何を言っても
「ヤダー！」の一点張り

エピソード ②

4才～6才

保育園に行きたがらない
出かける時間になると大泣き

☆ 学級活動での様子



【グループで交流している場面】



【説明を受けている場面】

◎グループ交流の工夫

- ・ 性感染症の内容を取り扱うため男女別でのグループ
- ・ 事前アンケートから異なる考えを持った生徒でのグループ
- ・ 多様な考えを生み出すK J法による交流
- ・ すぐに交流できる座席配置

実践事例6 F中学校 第1学年

横断单元名「自分も相手も尊重できる」

教科等横断的单元の目標

- ① 生殖に関わる機能の成熟，性に関する適切な態度や行動の選択の必要性について理解することができる。【知】
- ② 思春期に関わる自己の課題を発見し，よりよい解決に向けて考え，自己の考えを発表することができる。【思・判・表】
- ③ 性情報への対応についてより身近な問題として捉え，他者とともによりよく生きようとすることができる。【学び】

単元計画

教科等	配時	主な学習活動・内容	主な支援	評価規準（方法）
特別活動	1	今，大切にすること（2－エ） ○規範意識に関わる講演を聞く。 ・身近な危険 ・困ったときの解決法	振り返りシートに講師に対する質問欄を設け，出てきた質問をまとめ，回答を作成し配布する。	思春期に関わる自己の課題を発見し，よりよい解決に向けて考え，自己の考えを発表することができる。（②：振り返りシート）
保健体育科	2	生殖機能の成熟 ○生殖に関わる機能の成熟について考える。 ・生殖機能の成熟 ・異性の尊重と性情報への対処	自分たちの年齢では，体や意識にどのような変化が起きているかを理解しやすい統計資料を提示していく。	性機能の成熟は個人差があり，異性の尊重，性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要になることを理解している。（①：学習プリント）
特別活動	1★	異性との望ましい関係（2－ウ） ○G Tの講話を聞く。 ○役割演技を取り入れたケーススタディを通して考える。 ・自他の人格を尊重すること	当事者の感情を実感しながら考察していけるように，役割演技を取り入れたケーススタディを設定する。	性情報への対応についてより身近な問題として捉え，他者とともによりよく生きようとしている。（③：学習プリント）

この実践のここがポイント！

個別指導と集団指導の組合せの工夫

学習後にさらに知りたいことや疑問に思ったこと，不安になったことなどを個別に相談できる日を設定する。その際，相談したい相手（大人）を希望できるようにする。

校内組織の工夫

性に関する指導推進委員会を設置し，生徒の実態から学習のねらいや内容，方法を検討し，全教員共通認識を持って計画的に進めることができるようにする。

【本時について】

「異性との望ましい関係」＜学級活動（2－ウ）＞ ★（1／1時間目）

本時の目標

- ・性情報への対応についてより身近な問題として捉え、自他を大切にしようすることができる。
- 【学び】

☆本時の展開

	学習活動・内容	
つかむ	1 前時の保健体育の学習を振り返る。 ・性とどう向き合うか 2 本時のめあてを確認する。 GTの話をもとに、性情報への対応について考えよう。	「つかむ」工夫 保健体育の学習内容を正確に振り返ることができるように、プレゼン資料を提示して確認するよう促す。
さぐる	3 GT（少年サポートセンター）の講話を聞く。 ・命の大切さについて ・プライベートゾーンについて ・SNSなどで性に関する被害にあわないために	評価規準（評価方法） 性情報への対応についてより身近な問題として捉えている。（振り返りシート）
みつける	4 ケーススタディを行う。 (1)適切に判断するためのアドバイスを個人で考える。 ・〇〇くんが別の子に送るかもよ ・拡散する可能性があるよ ・やめてほしい (2)個人の考えをもとに、役割演技を行う。 (3)グループで交流し、全体に発表する。	「みつける」工夫 アドバイスを受けたときの気持ちを実感できるように、個人でアドバイスを考えた後に、グループごとの役割演技の場を設定する。
ふかめる	5 学習のまとめを行い、本時を振り返る。 ・犯罪に巻き込まれる可能性があるから、画像のやり取りは行わない ・相手のことだけではなく、自分のことも大切に考えて行動することが大切	評価規準（評価方法） 自他を大切にしようすることができる。（学習プリント）

目標到達しなかった生徒への対応例

インターネット上に公開される被害が後を絶たないことを再確認するとともに、被害にあうとその後どのようなことが起こるか想起させる。

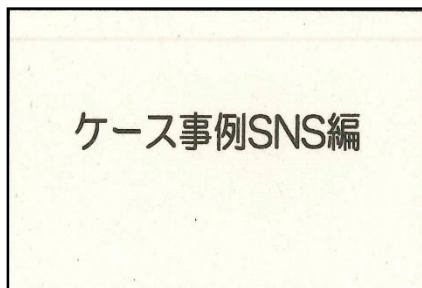
事前・事後の個別指導の具体例

事後アンケートから、希望がある生徒や課題を抱える生徒に対して教育相談の機会を設定する。

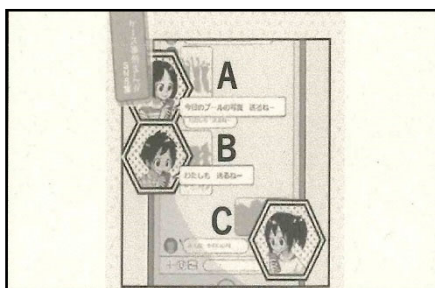
【関係資料】

☆ ケーススタディでの提示資料

①



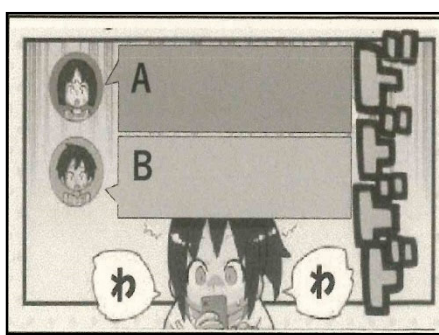
②



③



④



⑤



※ 福岡県庁 HP 中学生向け啓発パンフレット「まんがで学ぼう！デートDVと性暴力」より

☆ 学習プリント

学習プリント

() 年 () 組 () 番 名前 ()

・ケースを読んで、被害にあわないうために、A・Bのセリフを考えよう。

A

B

2 今日の授業の感想

自分や相手が被害にあわないうために気をつけることと今日の授業で学んだことを書きましょう。

☆ 事前アンケート

性に関するアンケート

年 組 名前

□性情報について質問します。

Q1 インターネットやスマホ、SNSなどの性情報を安易に考えず、相手のことだけでなく自分のことも考えて行動できる。

(4 - 3 - 2 - 1)
できる どちらかというと できない
できる

Q2 不安がある場合は、先生や保護者などの信頼できる大人に相談できる。

(4 - 3 - 2 - 1)
できる どちらかというと できない
できる

Q3 性行動は相手の体や心を傷つける可能性があると思う。

(4 - 3 - 2 - 1)
できる どちらかというと できない
できる

Q4 自分の体を大切にしている。

(4 - 3 - 2 - 1)
できる どちらかというと できない
できる

Q5 インターネットやスマホ、SNSで心配な思いや怖い思いをしたことがありますか？

(4 - 3 - 2 - 1)
できる どちらかというと できない
できる



☆ 事後アンケート

性に関するアンケート

年 組 名前

□性情報について質問します。

Q1 インターネットやスマホ、SNSなどの性情報を安易に考えず、相手のことだけでなく自分のことも考えて行動できる。

(4 - 3 - 2 - 1)
できる どちらかというと できない
できる

Q2 不安がある場合は、先生や保護者などの信頼できる大人に相談できる。

(4 - 3 - 2 - 1)
できる どちらかというと できない
できる

Q3 性行動は相手の体や心を傷つける可能性があると思う。

(4 - 3 - 2 - 1)
できる どちらかというと できない
できる

Q4 自分の体を大切にしている。

(4 - 3 - 2 - 1)
できる どちらかというと できない
できる

Q5 インターネットやスマホ、SNSで心配な思いや怖い思いをしたことがありましたか？

(4 - 3 - 2 - 1)
できる どちらかというと できない
できる

Q6 性に関することで個別相談を希望しますか？

はい ・ いいえ

Q7 Q6ではいと答えた人は、相談したい先生がいますか？

はい ・ いいえ



実践事例7 G中学校 第3学年

横断单元名「異性との望ましい関係」

教科等横断的単元の目標

- ① エイズ及び性感染症, 異性と望ましい関係を築くために必要なことを理解することができる。【知】
- ② 性感染症が拡大する背景について考え, 自己の課題を見出し, 解決していくことができる。
【思・判・表】
- ③ 自主的に学習に取り組み, 自己実現を図ろうとすることができる。【学び】

単元計画

教科等	配時	主な学習活動・内容	主な支援	評価規準（方法）
保健体育科	2	感染症の予防 ○性感染症の効果的な予防方法について考える。 ・エイズ及び性感染症の疾病概念と感染経路 ・感染のリスクを軽減する効果的な予防法	エイズ及び性感染症が現在の社会問題になっていることを実感できる資料を提示する。 保護者との連携の工夫	エイズ及び性感染症の疾病概念と感染経路, 効果的な予防法について理解している。 (①: 学習プリント)
特別活動	2★	異性との望ましい関係（2ーウ） ○助産師による講話を聞く。 「性感染症・10代の性について」 ・性感染症の種類やその原因 ・命の神秘性や偶然性 ○望ましい関係を築くために必要なことを考える。 ・性感染症の防ぐこと ・望ましい関係へ向けての自己決定	グループ交流を通して自己の考えを深める場面や学んだ内容をもとに自己決定させる場面を多く設定する。 ICTの活用	性感染症の現状を身近な問題ととらえ, 自己の課題を見出し, 解決していこうとしている。 (②: 振り返りシート) 異性と望ましい関係を築くために必要なことを理解し, 自己実現を図ろうとすることができる。 (①③: 学活ノート)

この実践のここがポイント！

保護者との連携の工夫

性に関する指導を実施していくにあたって, 学習内容や方法等について事前に保護者に知らせるとともに, 学習終了後の子供たちの様子も積極的に伝える。

ICTの活用

自分事として捉えることができるように, 同年齢が主人公である動画教材を使用し, 「自分だったらどう行動するか」などの問いをもとにした話し合い活動を多く設定する。

【本時について】

「異性との望ましい関係」＜学級活動（2－ウ）＞★（2／2時間目）

本時の目標

- ・異性と望ましい関係を築くためには、両者の関係性や対人関係スキルが深く関わっていることを理解できる。【知】
- ・異性との望ましい関係を築こうとすることができる。【学ぶ】

☆本時の展開

	学習活動・内容	
つかむ	1 前時の助産師の講話の内容を振り返る。 ・性感染症の原因、命の神秘性や偶然性 素敵な未来にするために大切なことは？ 2 本時のめあてを確認する。 将来の交際相手との望ましい関係について考えを深めよう。	「つかむ」工夫 自分事として授業に参加できるように、前時の講話の内容を踏まえた自分の未来について考える場を設定する。
さぐる	3 望ましい関係を築くために必要なことを考える。 (1)対等な恋愛関係に関する動画（デートDV含む）の前半を視聴し、自分の考えを記入する。 (2)男女4人グループで考えを出し合い、全体に発表する。 (3) 対等な恋愛関係に関する動画の後半を視聴する。	評価規準（評価方法） 異性と望ましい関係を築くためには、両者の関係性や対人関係スキルが深く関わっていることについて理解している。（学活ノートへの記入内容）
みつける	4 学年教員メッセージを聞き、異性との望ましい関係について考える。 ・自分も相手も大切にできる関係 ・人として信頼し合える関係 ・本音を語り合える関係	「ふかめる」工夫 いつでも自分の考えを振り返ることができるように、学活ノートの表紙の裏に記入させる。
ふかめる	5 学習を振り返り、将来、交際相手と望ましい関係を作るために、今日から自分にできることは何か考える。 ・自分自身を大切にする ・先を考えて行動する ・人の気持ちを大切にする	評価規準（評価方法） 異性との望ましい関係を築こうとすることができる。（学活ノートへの記入内容）

目標到達しなかった生徒への対応例

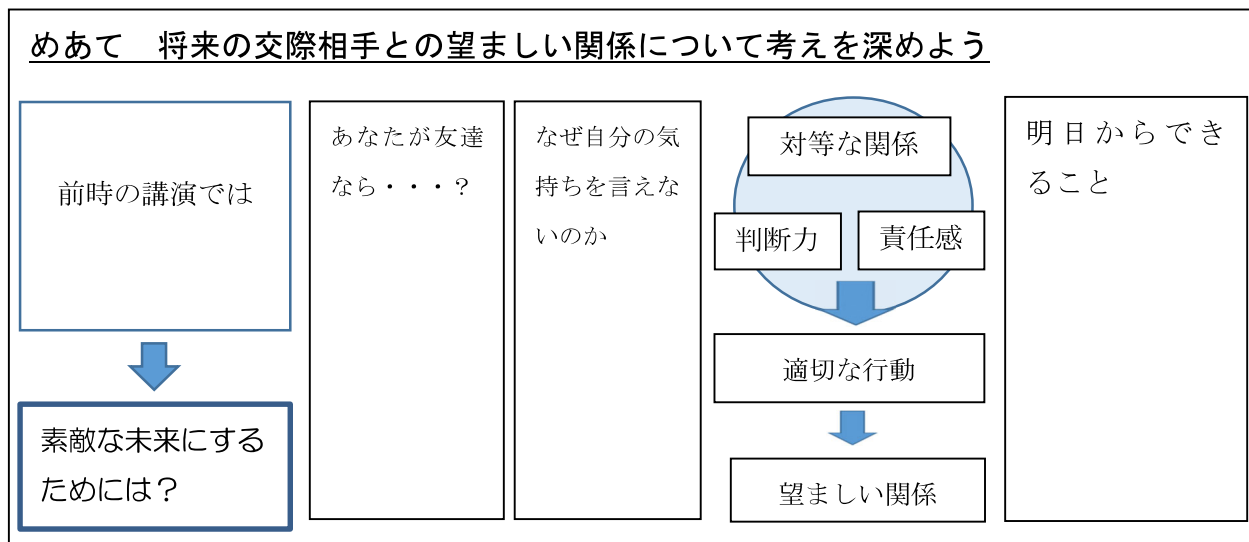
帰りの会等で望ましい関係を築くために必要な信頼、責任感、尊重などに関連する内容を繰り返し教師から説話していく。

事前・事後の個別指導の具体例

生徒と信頼関係のある教師との教育相談を設定し、相手の立場で物事を考えることができるよう継続して支援する。

【関係資料】

☆ 板書計画



☆ 個別指導の例

【事例１】

名前	A（女子）
■いつ	学習後の学級担任との個人面談時
■場所	相談室
■内容	交際相手との関係について （交際相手の嫉妬がひどく、すぐに怒る。怒ったらすぐ無視するが、数日後には優しくなって謝ってくる。ずっとその繰り返しでとても嫌な感じがある。）
■指導の概要	彼も真剣に授業に参加していた。お互いが冷静で落ち着いている時に、授業の話題から切り出して話し合ってみよう提案するとともに、困ったことがある時は、いつでも相談に来よう伝えた。 また、本人の了承を得て、養護教諭等関係職員と情報共有した。
■経過（１か月後）	自分も意見をしっかりと伝えるようにしている。相手が怒ったら、言いたいことをできるだけ落ち着いて伝えたりするようにした。ケンカは増えたが、以前のように嫌な感じではなくなっている。

【事例２】

名前	B（養護教諭との信頼関係がある男子）								
■いつ	学習後の保健室来室時								
■場所	保健室								
■対象	学習の振り返りの記述などから課題があると考えられる生徒 <table border="1"> <thead> <tr> <th>振り返りシートの設定</th><th>男子生徒の回答</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>どうして性感染症になるのか分かりましたか。</td><td>分からなかった</td></tr> <tr> <td>性行動によって相手を傷付ける可能性があると思いますか。</td><td>ないと思う</td></tr> <tr> <td>特定の相手と交際してみたいと思いますか。</td><td>とてもそう思う</td></tr> </tbody> </table>	振り返りシートの設定	男子生徒の回答	どうして性感染症になるのか分かりましたか。	分からなかった	性行動によって相手を傷付ける可能性があると思いますか。	ないと思う	特定の相手と交際してみたいと思いますか。	とてもそう思う
振り返りシートの設定	男子生徒の回答								
どうして性感染症になるのか分かりましたか。	分からなかった								
性行動によって相手を傷付ける可能性があると思いますか。	ないと思う								
特定の相手と交際してみたいと思いますか。	とてもそう思う								
■内容	性感染症についての理解や性行動に関する態度について								
■指導の概要	保健室にある書籍などを用いて、性感染症やデートDVについての学習を復習した。 また、性行動には、責任、知識、対等な関係が必要であること等を繰り返し確認した。養護教諭と学習した内容については、本人の了承を得て、関係職員と情報共有し、経過を観察した。								
■経過（１か月後）	養護教諭との会話の中で「性行動で相手を傷付けることもあると思う。」と話す。								

☆ ワークシート

3年生学級活動

3年 組 番 名前

めあて 将来の交際相手との望ましい関係について考えを深めよう

- 1 DVDの中の リクとカオリ、あなたが彼らの友達なら、どんな言葉をかけますか。

カオリ「ずっと監視されてるみたいで、いやな時がある…」

あなた「_____」

リク 「デートのたびにお金使わされて、正直つらいよ」

あなた「_____」

- 2 リクやカオリは、なぜ自分の気持ちを言わないのか、予想を書きましょう。

- 3 望ましい関係とはどんな関係ですか？今の考えを聞きましょう。

- 4 今日の授業を終えて、明日からできることを記入しましょう。

私は、今日から次のことを意識して、行動できるようにします。

○

○